

経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等

項目	課題	実施期間	具体的な改善策
販路拡大・売上増大	安定した品目・数量の出荷	令和6年4月～令和7年3月	コープ有機のシェアは東海エリアの青果部門で第3位までシェアを拡大できているため、こちらに卸す野菜の量・品目を増やしさらなる販売拡大を目指していく（ミニトマト、さつまいも、ミニ大根等）。
販路拡大・売上増大	利益につながる品目の生産量確保	令和6年4月～令和7年3月	昨年、利益につながる可能性のあった品目（トウモロコシ、小玉スイカ）の生産量の確保と、高価格帯で販売できる自然栽培の果樹（柑橘類、さくらんぼ等）の栽培量を増やしていく。
新たな作業の確保	野菜の生産・販売以外での売上の確保	令和6年4月～令和7年3月	施設外就労先の圃場管理を年間を通じて請け負うことで、安定して施設外就労での収益を確保する。

（注）経営改善を行う項目（例：営業体制の強化、経費削減、販路拡大等）を記載するとともに、課題を記載し、その課題に対応するための実施期間と具体的な改善策をそれぞれ記載する。適宜欄は追加する。

（計画期間中の見込額）

令和6年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益	1,500,000	2,200,000	1,500,000	2,500,000	3,000,000	3,000,000	1,500,000	1,800,000	2,200,000	2,000,000	1,500,000	1,500,000	24,200,000
	就労支援事業活動収益計													
費用	就労支援事業販売原価													
	期首製品（商品）棚卸高													
	当期就労支援事業製造原価													
	当期就労支援事業仕入高	200,000	100,000	150,000	150,000	150,000	200,000	300,000	200,000	150,000	100,000	200,000	100,000	2,000,000
	期末製品（商品）棚卸高													
	就労支援事業販管費													
	就労支援事業活動費用計													
	就労支援事業活動増減差額	1,300,000	2,100,000	1,350,000	2,350,000	2,850,000	2,800,000	1,200,000	1,600,000	2,050,000	1,900,000	1,300,000	1,400,000	22,200,000
	支払い賃金総額	1,700,000	1,800,000	1,700,000	1,900,000	1,800,000	1,800,000	1,900,000	1,900,000	1,900,000	1,900,000	1,800,000	1,900,000	22,000,000

（前年度実績）

令和5年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益	324,381	428,493	411,033	841,006	1,093,507	580,441	388,324	568,362	450,770	454,556	418,387	279,330	6,238,590
	就労支援事業活動収益計													
費用	就労支援事業販売原価													
	期首製品（商品）棚卸高													
	当期就労支援事業製造原価													
	当期就労支援事業仕入高	515,332	147,266	81,130	88,183	90,552	94,373	212,720	126,430	147,016	160,614	125,367	200,000	1,988,983
	期末製品（商品）棚卸高													
	就労支援事業販管費													
	就労支援事業活動費用計													
	就労支援事業活動増減差額	-190,951	281,227	329,903	752,823	1,002,955	486,068	175,604	441,932	303,754	293,942	293,020	79,330	4,249,607
	支払い賃金総額	1,810,504	2,023,199	1,779,561	1,593,213	1,653,758	1,619,074	1,887,925	1,716,848	1,684,545	1,736,037	1,660,831	1,841,591	21,007,086